

ながおか・放課後子ども通信

令和6年3月18日発行(vol.7) 長岡市教育委員会 子ども未来部 子ども・子育て課 ☎0258(39)2393

学校と地域、みんなで「5つの心」を育てる

宮内小学校 校長 鈴木 康幸

長岡市教育委員会が近年力を入れている保幼小中連携の取組。宮内中学校区では、子どもたちの実態を踏まえ、『5つの心』を育てようと、宮内中学校と中学校区にある4つの小学校、8つの保育園・幼稚園が連携して取り組んでいます。『5つの心』とは、「正義の心」「思いやりの心」「あきらめない心」「感謝の心」「素直な心」です。子どもたちに関わっているのは当然、保幼小中だけではありません。保護者・家庭はもとより、町内子ども会や社会教育団体など様々な関係団体が数多くあります。放課後児童クラブ・児童館も、その大事な一つです。

人が複数集まれば、人と人との間に様々なことが起こります。それがいいことやうれしいことであればよいのですが、時にはトラブルも起こるでしょう。そのような時にも『5つの心』で解決していく力を身に付けていってほしいと願っています。

児童館の館長様からは、宮内小学校のコミュニティー・スクールの委員としても加わっていただいたり、時折、来校いただいたりして、子どもたちに関わる様々な情報や御意見を随時いただいています。これからも、児童館の皆様と密に情報交換・共有して、みんなで子どもたちに『5つの心』を育てていきたいと思えます。



「花いっぱい活動」で、プランターを児童館に届ける子どもたち

宮内児童館 館長 大森 丈博

安心安全に児童クラブを運営する上で、学校との連携は欠かせません。これまで、学校との情報共有は①行事等については

双方のお便り②下校の情報は、適宜連絡を取り合い適切に対応③支援が必要な児童の対応についても適宜情報共有④インフルエンザ、コロナ等の感染症は、即時学校からの情報提供と随時情報を共有しています。また学校運営協議会の場で、地域と学校が連携・協働しています。

今後の課題として、学校やクラブでの児童の気になる様子や体調など、共有する情報を具体化し、教職員との共通認識を図りつつ、さらに、定期的な情報交換の場を設定する事が必要と考えています。

館長として、学校との連携をよりスムーズにするために、必要に応じて学校に向いたりすることも何度か行いました。今後も学校への働きかけを切らさず連携を確かなものにしていきたいと考えています。

児童館・児童クラブの効果的な取組

「ごほうびカード」の活用で行動が改善

新町児童館 専任厚生員 吉川 美樹

児童がクラブでの生活を安全に過ごせるようにと始まった「ごほうびカード」は、毎日、目標を達成する児童もいるほど行動が改善されています。それぞれの目標を達成するために自分の行動を意識するようになりました。ご褒美と毎日のシール貼りで頑張りが可視化し、褒められ認められることにより、さらに頑張れるようです。保護者とも共有することで協力体制ができ、様子なども伝えやすくなりました。このまま良い方向へと続くよう継続していきたいと思えます。



ごほうびカードにシールを貼る

トラブルが軽減した「ピクトグラム」の活用

青葉台児童館 専任厚生員 齊藤 直美

当館では、子ども達に「ピクトグラム」を使って、自分たちの行動を考えてもらいました。常に目に入るように各部屋の壁や玄関に貼り出し、お互いに意識して過ごしています。自分たちで話し合ったことで気を付けることを意識するようになり、トラブルは少なくなってきました。また、新しいトラブルが発生する度に「ピクトグラム」を活用し、その都度話し合いながら、トラブルの軽減に生かしています。



ピクトグラムを見ながら話し合う

これまでの成果を発表！（寺泊放課後子ども教室）

寺泊放課後子ども教室運営協議会 会長 高津 勝



寺泊芸能祭のステージ発表

展に、19日「寺泊芸能祭」では、小学校5・6年生の発表に加えていただき、ステージ発表を行いました。これまでの成果を発表し、お褒めの言葉や大きな拍手をいただきました。子どもたちは充実感を得て活動を終えることができました。

寺泊放課後子ども教室では、「習字・硬筆」「伝筆」「俳句」「生け花」「茶道」「日本の踊り（塩たき節）」「伝統芸能（野積盆踊り）」「三味線」の7つの教室を開いています。11月5日「コミセン祭り」で作品

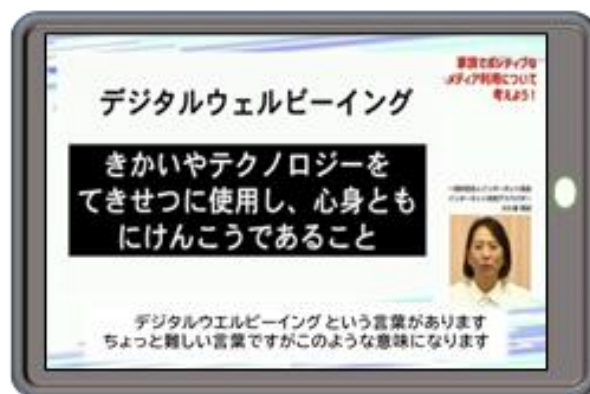


伝筆教室の作品

WEB 配信講座「ネット社会を生き抜く子育て」

家庭教育講座『親も育つ子育てセミナー』WEB配信講座(小学校版)を、冬休み期間に実施しました。

今回は、親子で一緒に学ぶ講座もあり「家族でメディア利用について話し合う良い機会となりました」などの感想が寄せられました。今後も長岡市出雲崎町小中学校PTA連合会と共催で、家庭教育に役立つ情報を発信していきたいと思えます。



児童クラブ厚生員のメンタルヘルスと保護者との接し方

11月17日(金)13:30~15:00、長岡教育センターで「児童クラブ厚生員のメンタルヘルスと保護者との接し方、クレーム対応」について、新潟薬科大学臨床教授 南雲陽子様からご講義いただきました。ほとんどの方が肯定的評価をしてくださる、学びの多いお話でした。



表情による印象の違いの演習

- ・ヒトの脳はみんな違い、受け止め方はみな違うことが分かりほっとしました。
- ・相手の話をしっかり聞くことが一番大切だということが分かりました。
- ・理由や気持ちをよく聴き、受け止めて、対応する大切さがわかりました。
- ・内容が分かりやすく、気を付けていくべき点が多く見つかりました。

参加者アンケートの記述から
(抜粋)

「親子で挑戦！魚の下ごしらえ教室」（地元企業とPTA活動の連携）



アジの三枚おろしに挑戦

原信ナルス(株)のスタッフの皆さんの指導の下「魚の下ごしらえ教室」が深沢小学校と日吉小学校で11月中旬に行われました。

料理を通じて「食の大切さ」「感謝の心」を醸成するため「魚の下ごしらえ」を親子で学びました。アジの下ごしらえ実習では、子どもたちは恐る恐る包丁と魚に触れていましたが、時間とともにスムーズに内臓を取り出したりして、三枚におろすことができました。

2時間程度の講座でしたが、楽しく有益な時間を過ごすことができました。

地域と学校がコラボ「まちなかコミュニティ食堂」

まちなかコミュニティ食堂代表 高橋和美

私達の活動場所であり、表町コミュニティセンターは、表町小学校に隣接しています。

今年度、表町小学校5年生（学年愛称：ミラクル学年）の皆さんが「まちなかコミュニティ食堂」についてたくさん学習してくださいました。その中で自分達も地域とつながりたいと考え、今までの学習を活かして企画してくれたのが、まち食とコラボしたミラクル弁当の配布です。当日は地域の方に、大変喜んで頂けました。



子供達がこの地域に育って良かったと思える活動になったと思います。

開催日：第4木曜日 17:30～
場 所：表町コミュニティセンター
料 金：100円

※まちなかコミュニティ食堂は地域以外の方、どなたでもご利用いただけます。



今後の児童館・児童クラブについて

長岡市は、児童館・児童クラブの課題を解決するために、令和3年度から「児童館・児童クラブの在り方検討ワーキング部会（子ども・子育て会議内）」を設置し、また、現場の児童館長や職員への説明会を実施する等、検討を重ねてまいりました。この度、令和7年度からの運営方針を決定いたしましたので概要をお知らせします。

①民間事業者への業務委託

職員不足や、配慮が必要な子どもの増加といった課題に対して、民間のノウハウを生かした柔軟な雇用体系の実現や、専門的な研修の充実、ICT（情報通信技術）の導入等により職員が今まで以上に子どもの見守りに集中できる環境を整え、児童や保護者、現場職員が安全・安心できる持続可能なサービスの提供を目指します。

②地域との協働体制は維持

民間への業務委託後も地域の皆さんに協力をいただきながら、希望する職員の雇用を継続し「地域のこどもは地域で見守り育む」という長岡市の理念を維持します。

③児童館の機能は継続しつつ新しい形へ

地域のニーズに応じて機能やサービスを柔軟に対応できる形に変更します（児童福祉法上の施設としての取扱いを改めます）。

④無料を継続

子育て世帯の負担軽減や支援の充実という観点から、利用料無料を継続します。

今後、説明会（市立学校校長会義、児童館長・児童厚生員説明会）を予定しております。引き続き地域のこども達のための連携と協力をよろしくお願いいたします。